

第1回 高千穂中学校移転新築検討委員会会議録 (要旨)

日時：令和5年10月4日(水) 午後2時00分 開会

場所：高千穂町立中央公民館 2階 講堂

委員：出席者14名(うち代理2名)、欠席者1名

出席者	富高康雄委員、喜田鉞子委員、甲斐勝朗委員、佐藤さつき委員、板倉哲男委員、佐藤幸男委員、榎本英雄委員、富高徹雄委員、安在優委員、佐藤公彦委員、安在直委員、佐藤有美委員
代理出席者	赤池英人氏(金丸智弘委員の代理)、興梶亜由美氏(甲斐烈委員の代理)
欠席者	甲斐英生委員

事務局：出席者7名 オブザーバー：出席者5名

事務局	教育委員会：戸敷教育長、林次長、佐藤課長補佐、山口学校教育係長、田尻学校教育係主任主事、建設課：飯干まちづくり推進係長、黒木稜平(建築住宅係)技師
オブザーバー	有藤総務課長、興梶財政課長、戸高総合政策課長、甲斐建設課長、佐藤農林振興課長

1. 開会 【進行：佐藤課長補佐(委員長選任、教育委員会説明まで)】

2. 委嘱状交付

- ・町長から委嘱状を委員の代表に交付。(町公民館連絡協議会長 富高委員)
- ・各委員の委嘱状は机上へ配付。

3. 町長あいさつ

- ・これまで、高千穂中学校と高千穂高校との併設検討もあったが、現実問題として、県立と町立の違いや高校の建物の老朽化、給食室や中学校特別教室をどうするか等があり、結果が出なかった。
- ・昨年度、県へ出向き、町単独建設を報告し、少しでも早く前に進める方向で決定した。
- ・今回、候補地5箇所の現地視察がある。場所についてご意見頂きたい。

4. 教育長あいさつ

- ・令和3年に着任し、田原小、田原中・上野中、高千穂中については、大きな課題だと思い、すぐ取り掛かってきたつもりだが、3年経過した。
- ・今年6月に意見聴取会を開き、60人近い方々から色々な意見を頂いた。その時も20年後をイメージしてまちづくりを考えた時に、どこに学校があったら良いかという挨拶をした。
- ・単なる学校移転という問題でなく、まちづくりという観点からもご意見頂きたい。

5. 自己紹介

- ・各自自己紹介形式
6. 高千穂中学校移転新築検討委員会要綱について〔資料1〕【説明：林次長】
- ・要綱に基づき説明。
7. 委員長・副委員長の選出について
- ・事務局提案により選出
 - ・委員長 町公民館連絡協議会 会長 富高康雄委員
副委員長 町議会議員 佐藤さつき委員
8. 教育委員会説明
- (1) 高千穂中学校施設の現状について〔資料2〕【説明：林次長】
- ・資料2に沿って説明。
 - ・高千穂中学校老朽化（特別教室棟：S39年建築 普通教室棟：S53年建築）による修繕箇所が増加し、教育内容の変化、充実への対応が困難である。
 - ・学校用地は、急傾斜地警戒区域内にあり、早急な移転、建て替えが必要である。
 - ・建物敷地保有面積 17,505 m²、運動用地面積 11,900 m²、その他面積 4,909 m²、総面積 34,314 m²、校舎普通教室棟 1,280 m²、職員室等を含む特別教室棟 1,848 m²、屋内運動場（体育館）968 m²。
 - ・耐震診断（H18年度実施）では、耐震強度を満たしている。耐震補強工事は不要。
- (2) 高千穂町立学校児童生徒数の現状及び将来推計について〔資料3〕【説明：林次長】
- ・資料3に沿って説明。
 - ・町内5つの小学校合計 学級数36、児童数507名。町内2つの中学校合計 学級数14、生徒数263名。（R5.4.1現在）
 - ・今後、児童生徒数は減少する。12年後の令和17年度は、中学校生徒数92名減少する。
9. 協議事項 【進行：富高委員長】
- (1) 検討委員会の役割とスケジュールについて〔資料4〕【説明：林次長】
- ・資料4に沿って説明。
 - ・第2回検討委員会を10月末に予定。移転先候補地を選定、基本計画案と建設スケジュール案の協議を行う。来年1月、3月に第3回、第4回を開催し、3月下旬、基本計画を町長へ報告する。

【会議発言内容】

発言者	内容
板倉委員	・今回の事業は50年に1度の大きなプロジェクト。場所の選定は非常に大切。今日の情報を持ち帰り、協議する時間が必要。第2回を今月下旬

	開催は、無理がある。
甲斐委員	・代表できている、三田井地区公民館長らに報告し、意見を吸い上げる期間がもう少しあって良い。
富高委員長	・報告、相談の時間がある程度必要。あまり長く伸ばせないが、11月下旬ではどうか。 ・11月下旬頃で。日程は事務局に任せる。

(2) 移転先候補地の概要について〔資料5〕【説明：林次長】

- ・資料5に沿って説明。
- ・候補地5箇所は、6月の意見聴取会であがった候補地が3箇所（高千穂温泉跡地 福祉ゾーン）（高千穂小学校近隣地）（三升蒔 総合公園内）、7月の上野中学校の今後についての地区説明会であがった候補地が2箇所（折原グラウンド）（上野小・中学校校舎の活用）。

【会議発言内容】

発言者	内容
板倉委員	・検討する上でどれだけの費用が掛かるか非常に大切。概算費用が資料ではわからない。幅を持たせてもよいので示すことはできないのか。
オブザーバー 総合政策課長	・敷地よっての建設計画。場所が確定しないと建設費用は出ない。敷地を更地や造成する費用は出るが、建物の費用は現段階では、厳しい。
オブザーバー 総務課長	・資料の公表について、候補地には民有地があるが、あくまで候補地であり、地権者には話をしていない。公表には配慮いただきたい。
オブザーバー 総務課長	・遺跡に指定されている候補地がある。遺跡の出方にもよるが、発掘に5年以上はかかると想定している。
富高委員長	・土地に関しては、説明時に留意願いたい。 ・遺跡があり、ほかの事業もできなかったのかと考えられる。
甲斐委員	・町立病院建設時も横穴式墓が発見され、工事が中断した。
富高委員長	・遺跡発掘調査費の概算、2億円。これは町単独か。
事務局 次長	・遺跡は県指定。発掘調査は県が行う。最低4～5年かかる。補助等は確認する。

赤池(金丸委員) 代理	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、田原や岩戸の生徒はバス登校。1時間以上かけて登下校する生徒もいる。移転先候補地は、バスが運行されているかも含めて考えて頂きたい。
佐藤さつき委員 オブザーバー 総合政策課長	<ul style="list-style-type: none"> ・候補地の福祉ゾーンの活用は、福祉に関連しない建物で良いのか。 ・当時は福祉ゾーンとして計画し、現在、残地がある。福祉施設であれば、開発許可は必要ないとの規定があった。(現在は、その規定はなし)。 ・残地に建物を建設する場合は、開発許可は必要、残地をグラウンドにする場合は、不要と考えている。
安在優委員 富高委員長 事務局 次長 赤池(金丸委員) 代理 事務局 次長	<ul style="list-style-type: none"> ・再度、資料の公表を確認したい。各家庭へ配付しても良いか。 ・説明用にゼンリンに位置図を示したのもでも良い。 ・ゼンリンに位置図を落としたものを事務局で用意し、説明には、それを活用頂く。 ・資料5(詳細概要)の配付はどう考えるか。 ・資料5は、検討委員会用資料なので、公表できる内容に整理したものを作成する。 ・学校によって配付に関する差が出ないように、事務局で配付用資料を作成頂けると良い。 ・資料を作成し、各学校に配付する。
富高委員 富高委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・候補地5箇所のうち、より現実的な場所の見当がついているのか。 ・今回は、第1回目である。まずは、現地等を見て、次回に選定をお願いしたい。

10. 移転先候補地の視察〔資料5 別冊候補地の上空写真〕

- ・高千穂温泉跡地、高千穂小学校隣接地、総合公園内、折原グラウンド、上野小・中学校を視察。

11. 閉会

- ・午後5時00分 閉会